

大学VLBI連携・東アジアVLBI観測網の22GHz観測

=== ワークショップの趣旨 ===

大学連携ではこれまで 8 GHz、6.7 GHz を中心に観測が行われてきました。近年、VERAによる水メーザ・アストロメトリの研究が進展、KVNとの共同観測が本格化、さらに東アジアVLBI観測網が現実化へ近付いてきましたので、大学連携も 22 GHz での観測をより精力的に実施し、研究を活性化することが望まれます。

そこで大学連携の 22 GHz 観測を中心テーマとしたワークショップを下記の通り開催することにしました。もちろん 22 GHz の観測に限定せず、様々な視点から大学連携の研究の活性化と天文学の発展を目指すものと考えています。大学連携を使ってみたい方、新しい研究を始めたい方、研究を始めたばかりの学生の方など、多くの方に積極的に、そして気軽にご参加いただけますようお願いいたします。

日時 2010年11月12日(金) 14時00分-18時30分
場所 山口大学総合研究棟3階 フォーラムスペース

プログラム

1. 開会

14:00 挨拶と趣旨説明 藤沢健太 (山口大学)

2. 観測網・観測システムの現状

14:05-14:15 大学 VLBI 連携・東アジア VLBI と山口 32m の 22GHz 化の現状 藤沢健太 (山口大学)
14:15-14:30 茨城局における 22 GHz 帯受信システム整備状況 米倉覚則 (茨城大学)
14:30-14:45 つくば 32m 望遠鏡 22GHz 帯左右両円偏波受信システムの開発 宮本祐介 (筑波大学)
14:45-15:00 VLBI 観測に用いる円偏波分離器の開発 小川英夫 (大阪府立大学)
15:00-15:15 広帯域 VLBI 観測による銀河系内微弱連続波源の観測 廣田朋也 (国立天文台)
休憩

3. 研究成果と観測提案

15:30-15:45 VERA/JVNの研究戦略 面高俊宏 (鹿児島大学)
15:45-16:00 VERAによるミラ型変光星周期光度関係の解明とその利用 中川亜紀治 (鹿児島大学)
16:00-16:15 超広帯域/高感度 VLBI が切り開く変光星脈動による物質放出機構の研究 今井 裕 (鹿児島大学)
16:15-16:30 22 GHz VLBI と大質量星形成 元木業人 (北海道大学)
16:30-16:45 大質量星の形成最初期における 22GHz H₂O メーザの空間分布調査 杉山 孝一郎 (山口大学)
16:45-17:00 相対 VLBI による水メーザとメタノールメーザマップの重ね合わせ 蜂須賀一也 (上海天文台)

休憩

17:15-17:30 口径合成によるメーザ源の時間変動の検出 高羽浩 (岐阜大学)
17:30-17:45 AGN における 22 GHz アンモニア吸収線 VLBI 観測 澤田-佐藤 聡子 (国立天文台)
17:45-18:00 東アジア VLBI の広帯域観測で探る AGN の核周構造 輪島 清昭 (山口大学)
18:00-18:10 活動銀河核の大規模観測 土居明広 (宇宙研)
18:10-18:15 韓国-山口、中国-山口 VLBI の観測計画 藤沢健太 (山口大学)

4. 議論とまとめ